

# 上庄里芋

(生産振興課)

## 1 「上庄里芋」とは

福井県東部の大野市上庄地区で生産されるブランド里芋です。

上庄地区には、里芋に適した水はけの良い土壌や晩夏～秋に寒暖差が大きいこと、九頭竜湖から流れる豊かな水などの自然環境が揃い、美味しい里芋が収穫されます。

里芋栽培の歴史は古く、室町時代に伊勢神宮に奉納したとの記録も残っています。昭和45年から始められた米の生産調整を契機に本格的な栽培が始まり、現在では、「小ぶりながら身が締まっていて煮崩れしないため、里芋の旨みをしっかり味わうことができる。」という特長が各地で高い評価を得ています。



### (1) 概要

#### ① 県内の主な生産地

- ・大野市上庄地区

#### ② 生産量と主な出荷先

- ・「上庄里芋」は約60haで栽培され、年間約600tが生産されています。(5～6月に植付け、10～11月に収穫)  
そのほか、大野市、勝山市で生産される里芋約650tが「越前里芋」として出荷されています。
- ・県内市場に約60%が出荷され、東京をはじめとする県外にも出荷されています。

### (2) 現在の取り組み

#### ① 販路拡大

冷凍里芋の製造販売やこれまで活用されなかった頭芋を用いた加工品の開発・販売にも取り組んでいます。

### (3) 新たな展開

#### ① 生産拡大

定植機や収穫機等の導入により、省力化や生産規模の拡大を図ります。

#### ② 消費拡大

新たな加工品の開発や料理法の提案等により、消費の拡大を図ります。